**薬学的管理指導計画書**

　平成　26年　2月　17日作成

作成者　薬剤師：　　　寺山　直樹　　　　　　　印

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 26年　　2月分 | 患者氏名 | 大正 13 年 4月 28日生（91歳） |
| 訪問回数 | ２週間毎　　　　１週間毎　　　　１ケ月毎　　　　その他（　　　　　　　）　　　　　　曜日訪問 | |
| 医師からの情報 | （診断名）　高血圧症、心身症、胃潰瘍、閉経後骨粗鬆症、便秘  （既往歴）無し | |
| 患者の心身の特性 | ①便秘、水分不足　②歩くことが困難　③耳が聞こえづらい　④最近ご飯をむせこむ　⑤錠剤を出すとき落とすことが多い | |

|  |
| --- |
| 今月行った主な指導内容（確認項目・指導項目）    　服薬状況と残薬の確認  　生活状況の確認  　体温、室温の把握 |
| 計画に加味すべき追加・変更項目⇒次回に反映させる。  ①寒くなく天気のいい日はできるだけ外出するよう指導。ゴミ捨てに行けないことで衛生面は問題ないか。  ②冬場の水分摂取量の減少による便秘悪化に注意する。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 注目すべき点　　問題・課題など | （管理方法・副作用・ＡＤＬへの影響・相互作用等）  ①寒くて水分摂取量が減っているので、水分をなるべく多く取るようにする  ②寒い日はゴミ捨てにも行かないようにしている。→外出機会や運動量の減少。  ③④は様子見。  ⑤落とした錠剤を後日見つけたらティッシュにくるんで保管している。薬剤師訪問時にどの薬か確認し、小さいユニパックに入れて残薬と共に輪ゴムでくくり飲み間違えないようにしている。 |